○　教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

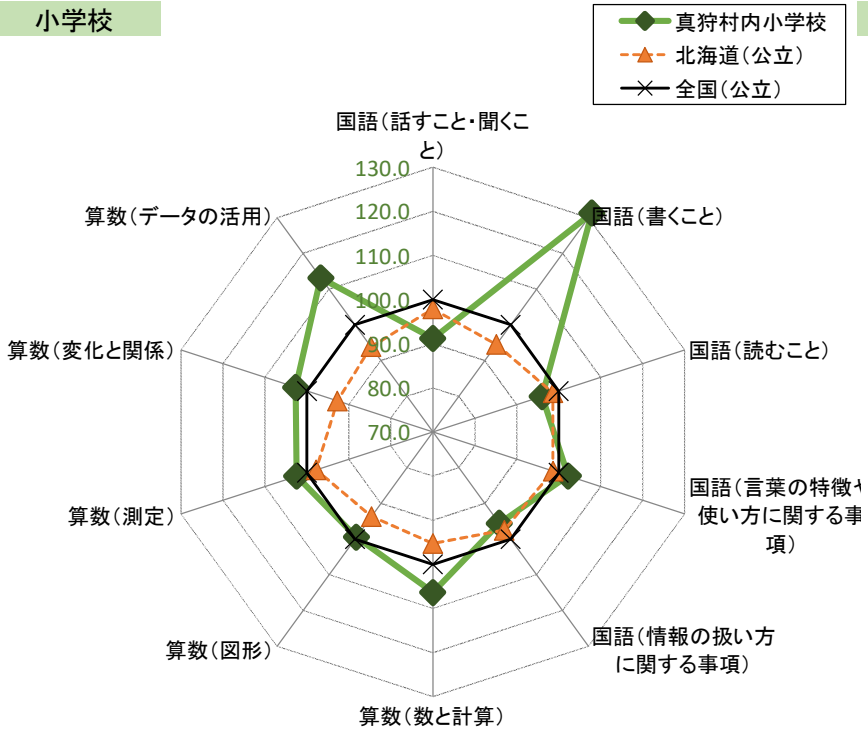
・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

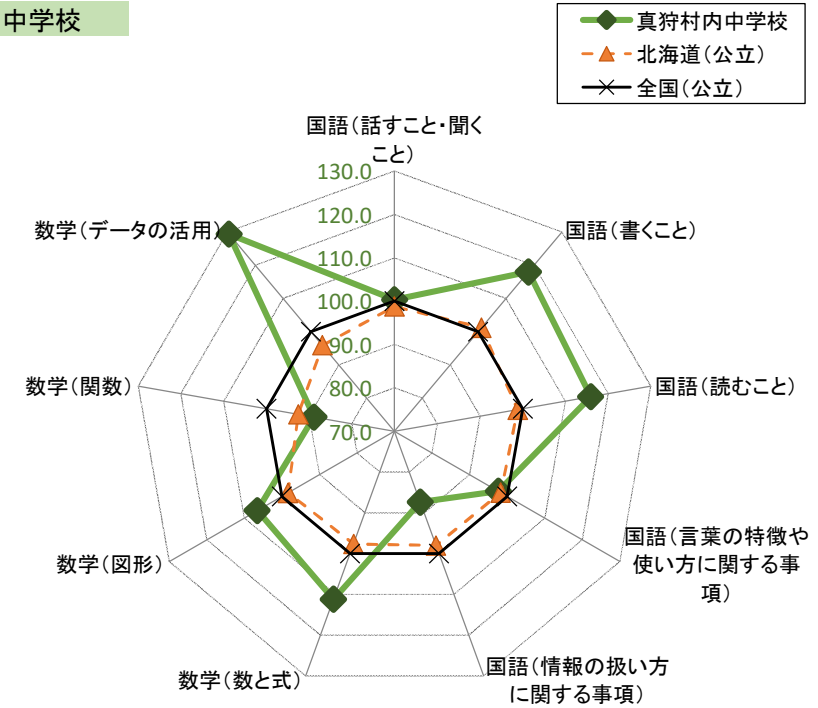
※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
真狩村	62	59	67	63	497
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校

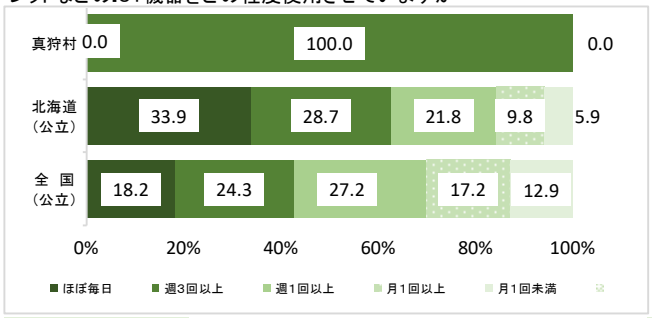


中学校

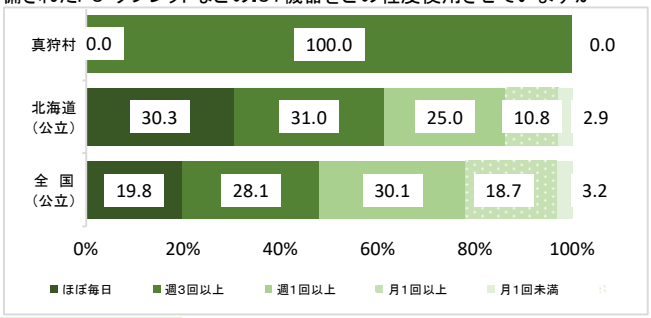


○ 質問調査の状況

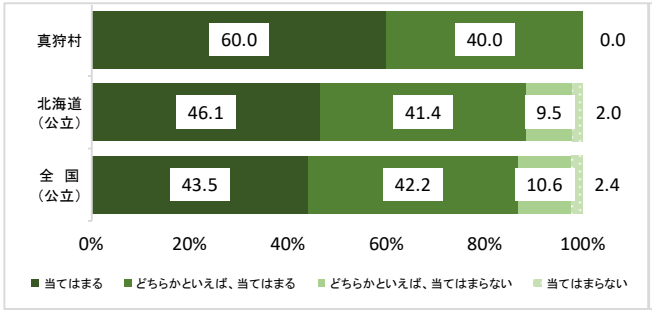
小学校
＜学校質問＞
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



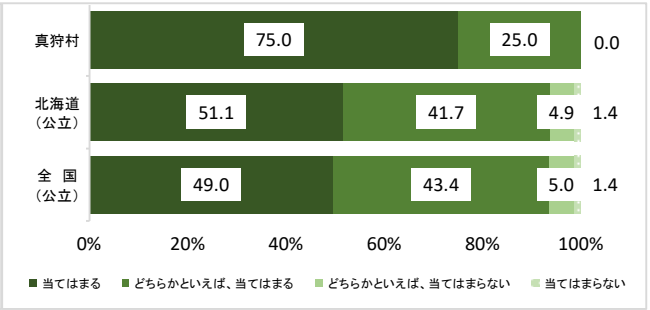
中学校
＜学校質問＞
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



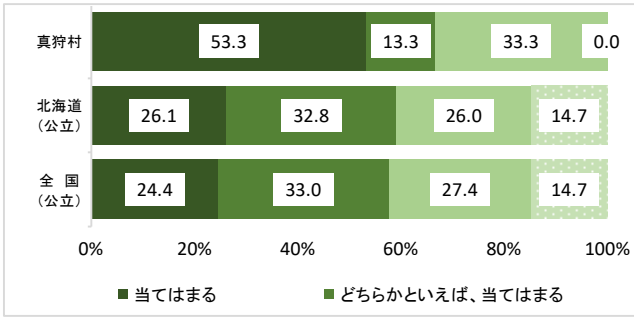
小学校
＜児童質問＞
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



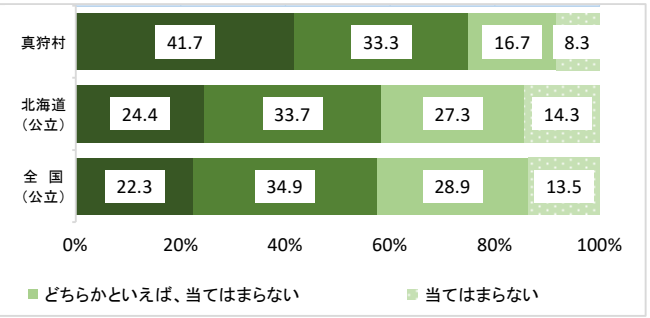
中学校
＜生徒質問＞
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



小学校
＜児童生徒質問＞
国語の勉強は好きですか



中学校



○ 調査結果の分析

・小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上活用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができているに「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合の合計が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上活用したことにより、授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいるに「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

・国語の平均正答率の一部が全国及び全道を下回っている状況は、国語の勉強が好きですかとの問いに否定的に回答した児童生徒の割合が他教科と比較して多いことが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

・校種間の垣根を越えた授業研究や研修による、教職員一人ひとりの指導力向上と客観的なデータに基づく授業改善の推進

・児童生徒一人ひとりの特性に応じた柔軟な学びを保障するための支援体制の充実

・豊かな読書経験を生む環境整備と「幼少期の本とのふれあい」を通じた読書活動の推進